

Committee Symposium

Fri. Jul 10, 2026 2:00 PM - 3:30 PM JST | Fri. Jul 10, 2026 5:00 AM - 6:30 AM UTC | Room2 (Conference Hall B1)

[CSY4] 委員会企画シンポジウム 4 (II-CSY4)

小児循環器医に知っておいて欲しい、成人診療の現場から見た移行後の問題点

座長:城戸 佐知子(兵庫県立こども病院 循環器内科)

座長:齋木 佳克(東北大学)

コメンテーター:落合 由恵(JCHO九州病院)

コメンテーター:稲井 慶(東京女子医科大学心臓病センター循環器小児・成人先天性心疾患科)

コメンテーター:石井 徹子(千葉県こども病院循環器科)

[II-CSY4-2] 循環器内科医の薬の使い方～小児科医の使い方はここが気になる～

○杜 徳尚 (岡山大学 循環器内科)

Keywords：成人先天性心疾患、心不全、薬物治療

成人先天性心疾患患者の増加に伴い、移行期医療における薬物治療が注目されておいるが、この領域は小児循環器医と成人循環器医で考え方の違いが表れやすい領域である。小児期では限られたエビデンスや保険適応の制約もあり、慎重な用量設定や経験的な治療が選択されることが少なくない。一方、成人診療では心不全治療薬や抗凝固療法、不整脈治療薬について、導入や増量を積極的に行う場面が多い。本講演では、こうした薬剤使用の違いを整理し、Fontan循環や体心室右室といった病態を踏まえながら、移行後に見えてくる課題を共有する。移行期における治療の見直しの必要性について考えたい。